

令和2年度

事業報告書

福島県水産海洋研究センター

目 次

【 海洋漁業部 】	
カレイ類資源管理手法の開発（資源状況）	1
カレイ類資源管理手法の開発（新規加入水準）	9
アカムツの利用、資源状況および生態	12
調査船調査からみたツブ類の資源状況	15
主要浮魚資源動向調査（カツオ・マグロ類）	18
主要浮魚資源動向調査（イワシ類、サバ類、アジ類等）	21
主要浮魚資源動向調査（サンマ）	25
沿岸海況予測手法の開発（海洋観測）	29
操業支援システムの構築	32
【 漁場環境部 】	
貝毒についての動向把握	36
シラス等漁況予測の手法開発	39
コウナゴ漁況予測の検証	44
試験操業におけるアワビ市場調査結果	50
漁業者によるアワビCPUE調査	52
アワビ大型個体における年齢査定	54
サケ回帰状況の把握と次年度回帰の予測	56
高鮮度化や加工による付加価値向上	59
社会実装促進業務委託事業	65
【 放射能研究部 】	
海産魚介類の採取水深と ¹³⁷ Cs濃度の低下傾向	67
2018年に採集されたマダラの ¹³⁷ Cs濃度でみられるサイズ効果の要因	71
飼料の組成から影響を受ける魚体の ¹³⁷ Cs濃度と窒素安定同位体比の変化	73
海底土の放射性セシウム濃度の経時的な変化と局所的な分布	76
【 研究課題一覧 】	
81	
【 その他 】	
I 庶務一般	82
II 令和2年度の刊行物	83
III 研究成果・外部発表・一般公開等	83
IV 職員名簿	90